

# 問題別分科会

## 1. 自治的諸活動と生活指導分科会

### ◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：藤田 健さん（ポランの広場）  
五日市正光さん（岩手高生研）

### ◎今年の討議の柱

- ①子どもたちが主体となる行事・活動をどうつくりましたか。
- ②クラスの課題・問題点にどうとりくんだか。
- ③「不登校」「いじめ」などにどう対応したか。
- ④将来の主権者を育てる教育をいかにすすめたか。

### ◎推進委員長

木田 裕子（岩谷堂高校）

## 2. 公害・環境問題と食教育分科会

### ◎今年の討議の柱

- ①進行しつつある岩手の環境破壊を明らかにする。
- ②原発・放射線教育をどう考えどう扱うか。
- ③再生可能エネルギー問題をどう考え、どう扱うか。
- ④広範な視点から、環境教育、食教育をどう実践したか。
- ⑤環境破壊を食い止め、自然を守る住民運動をどう展開したか。  
「つなげる・つながる・ひろがる」→「つなげる・つながる・ひろがる」

### ◎分科会アピール

かつて県教研の全体講演会に原子力資料情報室設立者の高木仁三郎さんが招かれたことがあります。私が公害・環境問題と食教育分科会に参加するようになって間もない頃でした。反原発、脱原発をいち早く掲げ原子力発電の危険性を指摘し続けた高木さんの話は今でも強烈な印象として残っています。

この分科会の歴史は新日鉄釜石製鉄所の公害問題からスタートし、さまざまな公害問題や環境問題に対し子どもたちとどのように考えていくかさまざまな議論を積み重ねてきました。今年度も現在、原子力資料情報室共同代表を務

められている山口幸夫さんと元高教組組合員で「三陸の海を放射能から守る岩手の会」世話人の永田文夫さんを共同研究者として招き、現在の公害・環境問題と食教育について真摯に向き合い議論していきますので、環境問題や食の問題に興味のある方の参加をお待ちしています。

岩教組と合同の分科会ですが今年は高教組日程で開催します。

### ◎推進委員長

高野 光生（盛岡農業高校）

## 3. 平和教育分科会

### ◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：加藤 昭雄さん（元高教組組合員）  
小西 寛さん  
（高校生平和大使事務局）

### ◎今年の討議の柱

- ① 平和教育をめぐる状況はどうなっているか（原発、憲法、自衛隊、教職員の意識、子どもたちの実態、選挙権年齢引き下げ、安全保障関連の状況について、領土問題）。
- ② 平和教育の実践をどのように行ったか（行えるか）。（修学旅行、文化祭、授業、総合学習、地域とのつながり）
- ③ 平和教育・平和運動の今後のすすめ方（高校生平和大使、高校生一人署名、平和カレンダー、組織的な動き）。

### ◎分科会アピール

- I 気軽に、真剣に「平和」について語り、考えましょう！
- II 高校生長崎平和の旅・一人署名の報告ア  
ります。

### ◎推進委員長

米倉 圭一郎（盛岡青松支援学校）

